

交通安全「愛の一声」運動 推進モデル市に指定される



▲ 9月28日に行なわれた市内パレード

最近の交通情勢は常に人命を危険にさらし、私達の生活環境を破壊しています。交通事故発生状況は、九月二十八日現在、死亡事故者数九十七人で、全国でワースト第一位です。

この対策として、地域一般住民の安全意識の高揚と交通安全運動を幅広く展開するために、山梨県交通対策推進協議会が中心となり、昭和五十二年より実施している交通安全「愛の一声」運動の昭和五十五年度推進モデル市町村に都留市が指定されました。

この運動の目的は、一人一人がお互いに交通ルールを守るよう家庭、地域、職場において、いつでも、どこでも、だれにでも「交通安全」「愛の一声」を呼びかけ合い、相互の信頼のなかで、交通モラルを高め交通事故を防止することにあります。

そこでこの運動を推進するにあたり、市内全域にわたり三〇〇名の運動推進員を委嘱し、交通事故のない明るい都留市をつくるために、市民の皆様のご理解と、ご協力をお願い致します。

なお「秋の全国交通安全運動」期間中の九月二十八日(日)に、文化会館四階大ホールにおいて、交通安全「愛の一声」運動推進大会を開催し、三〇〇名の方々が運動推進員として、委嘱いたしました。

また、この運動を強力に、中広く展開していくために中核となつて推進していただく団体はつぎのとおりです。

- 各自治会
- 各事業所
- 都留交通安全協会
- 都留安全運転管理者等協議会
- 都留市婦人会
- 都留市老人クラブ
- 都留地区女性ドライバーの会
- 市内保育園・幼稚園・小中学校
- 交通少年団
- 都留体育協会
- 都留ソフトボール協会
- 都留野球連盟

赤い羽根

「共同募金」始まる



十月一日から十二月三十一日まで例年のとおり赤い羽根募金と歳末助けあい運動がはじまりました。十月一日には市長、議長、収入役社協、民生委員、婦人会、その他関係者のみなさんが都留市、谷村、東桂、赤坂、禾生、田野倉の各駅前街頭募金を行いました。

みなさんの善意の協力により十三万四七〇円の募金が集まりました。みなさんから寄せられた募金は、県共同募金会に集められ、県下の社会福祉事業や生活困窮家庭や、ねたきり老人世帯等に配分されます。これから個別募金、大口募金、歳末助けあい募金が行なわれますので市民のみなさまのご理解と暖かいご協力をお願いいたします。

かかりつけのお医者さんを!!

へ誤った受診はやめましょう

あなたは医者や病院を転々と渡り歩いたり、むやみに薬を求めたりしているようなことはありませんか。経過が思わしくないと、すぐお医者さんをかえる人がいます。そのたびに検査や治療、薬剤などが重複して、かえって病状が悪化することがあります。それは誤った受診の仕方です。そのうえみんなの「国保税」が無駄に使われることになります。また忙しいお医者さんのことも考えて、夜間・休日の診療や往診も、急患の場合以外はできるだけ避けるようにいたしましょう。

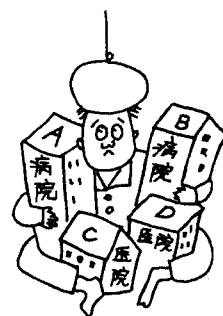
へかかりつけのお医者さんをもちましょう

ふだんから、かかりつけのお医者さんを決めておくことは大切なことです。あなたの健康をよく知

川をきれいにする運動に

参加しましょう

皆さん、近くの川や側溝にゴミを捨てた事はありませんか。近くの川にビニール、ハツポウスチロールなどが流れていませんか。自然を守り、住みよい生活環境をつくるため、もう一度真剣に周囲を見わたしてみよう。川によれが気になりませんか。



っているお医者さんは病気の時はもちろん、日頃の健康の支えにもなってくれます。行き届いた健康管理は、あなた、医師、そして国保の三人四脚で行われるのが望ましいのです。

- 正しい受診、笑顔で迎えるお医者さん
- 正しい受診で明日への健康
- 健康管理はあなたと医師と国保の三人四脚

住みよい環境をつくるのは私達自身です。一人一人がゴミを捨てないように注意し、呼びかけ合うことが大切です。

今年も「川をきれいにする運動」が実施されています。常会単位で自主的に、月一回「早起き三十分清掃」「ゴミを捨てない運動」を強力に実施しましょう。